

## 令和2年7月豪雨災害《支援活動報告》



9月19～21日、10月17～19日、令和2年7月豪雨災害の被害を受けた熊本県の人吉市と球磨郡周辺の支援に向かいました。コロナ禍の影響で現地における被災地支援がなかなかできず、長い間、救援物資や手作りマスク送付等の後方支援にとどまっていたが、昨今のGoToトラベルによる県外移動の緩和により、ようやく県外ボランティアとしての活動が始まりました。もちろん、コロナ感染防止対策として、支援に向かう際の体温測定、現地では知り合いの方や紹介された被災者の方のみとお会いし、チェックリストに記入するなど感染症対策の徹底に努めました。

この豪雨災害はコロナ禍の中で起きた初めての大規模な災害で、今まで想像もしなかった事態が起きています。それは県外ボランティアの激減です。9月に向かった被災地は、豪雨から2か月が経過しているにもかかわらず、路肩に無造作に置かれた瓦礫の山、泥まみれの家具や家電が放置されたままの状態でした。地元の方に話を伺うと、圧倒的に人手が足りず「県外からでもいいのでボランティアに来てほしい」との切実な声が多いことに驚きました。県外ボランティアを受け入れることは、感染拡大の恐れと背中合わせであり、全国のボランティアが感じているジレンマが現在も続いています。

9月の訪問は、当団体理事の萩野が事前に水害で汚れた写真をお預かりし、修復を済ませた50枚ほどの写真を持ち主である人吉市大柿地区の大柿長幸さんにお届けしました(3ページ記事ご参照)。その頃はちょうどたんぼの収穫時期で人手不足でもあるということで、収穫のお手伝いをさせていただきました。その他、球磨村では、泥や家具が散乱した家の中で住民の方の思い出の品(包丁)を一緒に探しだしたり、仮設住宅ではバーベキューの準備等のお手伝いをしました。(次ページにつづく)



### - c o n t e n t s -

- P1 . . . . . 令和2年7月豪雨災害
- P2 . . . . . 令和2年7月豪雨災害(つづき) / Vision 117 / 寄付のお願い
- P3 . . . . . 水没写真を修復 ～離れた場所から支援活動～
- P4 . . . . . COCOROPE
- P5 . . . . . 丹波市講演 / KSN交流会 / 「つなGirl」からの温かい支援
- P6 . . . . . 子ども防災クラブ / 災害ボランティアラボ / まちごと防災プログラム
- P7 . . . . . カレンダー・市中止のお知らせ / Nうごき・Nごよみ
- P8 . . . . . 会員・寄付者・募金者のみなさま / 朗報 / 編集後記

10月にも修復した写真を持って大柿地区を訪問。写真を大柿さんにお返ししたあと、泥で汚れたままの扉や窓をきれいにしました。また同地区の別のお宅ではカビが生えた床や壁を剥がし、球磨村では自宅で水害被害に遭った2,000枚程の写真をお預かりしました。今後、現地に行かなくてもできる被災地支援として、ボランティアの皆様と洗浄する機会を設ける予定です。今回県外から熊本支援に入り、コロナ禍において現地の方たちに受け入れて



いただけるかとても不安でしたが、被災された方々は一様に、遠く県外から来てくれて本当に助かり嬉しいと仰ってくださいました。人との接し方が難しい昨今、人との繋がりや距離感を大切に活動することが大事であると改めて痛感しました。今回の熊本支援は、皆さまからの募金により活動が実現しました。改めて、ご支援くださった皆さまに感謝申し上げます。

## Vision 117

新型コロナウイルス感染症の蔓延（コロナ禍）によって、災害ボランティアのあり方が問われました。NVNADは、感染リスクに配慮して現地入りを控えるところから始めました。感染症対策を学び、また、中国をはじめとした国際的な議論にも加わりつつ、ご縁のあったところに必要な物資をお届けしたり、女性スタッフがチームを作ってマスクをはじめとした細やかな支援も展開したりしてきました。しかし、現地からの情報によりますと、まだまだ支援が必要な状況です。しかも「あの頃にお手伝いがあれば・・・今はもう戻ることをあきらめました」という声も聞かれるとのことです。

もちろん、遠くから災害ボランティアが駆けつけることができなかつたために、その地域に本来存在していた互助の仕組みが顕在化することもあります。それは今後の地域防災を考えていく上で大切な

ことだと思えます。しかし、今後に残る大きな問題もあります。県外からのボランティアをお断りするという現地の判断に加えて、全国レベルの団体が、ガイドラインを示し、ボランティアに行くべきではないと連呼したことです。災害ボランティアに行くかどうかをなぜそうした団体が一斉に声高らかに言い募るのでしょうか？災害ボランティアが秩序だって統率のとれた行動をすることが「正しい」ボランティアであるといった風潮への圧力を感じざるを得ません。GO TOトラベルやGO TOイートが推進される中、GO TOボランティアのようなかけ声が起こってこないことについて、感染リスクを十分に検討しつつ、NVNADはじっくりと考えて動いていきたいと思えます。

コロナ禍がまたぶり返しているようにも思えます。少し時間はかかるかもしれませんが、折りを見てボランティアさんとともに被災地を訪れて、NVNADらしいお手伝いを始めたいと考えています。引き続き、ご支援のほどお願い申し上げます。

(理事長 渥美公秀)

## NVNADを支えて下さい

当団体は、災害救援支援活動や防災まちづくり、ネットワーク活動、災害についての講演・講座・セミナーなどを行っておりますが、今年はコロナの影響で例年のような活動ができず、非常に厳しい状況となっております。

今年度開始した独居高齢者へのお手紙プロジェクト、ようやく実現した九州豪雨の被災地訪問支援、そして今後はオンラインでの講演などにも力を注いでいく予定です。

年末の募金先として、当団体も候補のひとつに考えていただけますと大変ありがたいです。活動内容に関しましては、ホームページやニュースレターで報告させていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

【振込銀行】 三井住友銀行 西宮支店 普通 No. 7833406

(名義) 特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

当団体は認定NPO法人ですので、いただいた寄付金は税制優遇を受けることができます。

1月中旬～下旬に寄付金受領証明書を送付させていただきます。

銀行振込ではカタカナ名しか把握できませんので、お手数ですが住所と連絡先をお知らせ下さい。

TEL 0798(34)9011 FAX0798(34)9022 e-mail:nishinomiya@nvnad.or.jp

## ～離れた場所から支援活動～

被災された方（人吉市の大柿地区）の水没写真を修復

理事 萩野茂樹

### ●写真が届いた経緯

8月1日、「水害にあった写真を修復できますか」と人吉市に取材に入った知合いの記者から電話がありました。電話は、被災された大柿長幸さんご本人に代わり「球磨川の氾濫で2階の天井近くまで浸水し、泥まみれになったアルバムを何とか修復できないか」との話でした。

アルバム6冊は記者が持ち帰り、その後に直接連絡を取り、さらに2回宅配便で写真が送られてきました。枚数は合わせて、約500枚。

しかし、届いた写真は被災後1か月以上経っており、まだ水分を含んだものも多くありました。アルバムにも多くの泥が付き、写真の程度はかなり悪く、これ以上の劣化を止めるため、すぐ応急的な乾燥に着手しました。



私と大柿さん（右）

### ●写真修復活動

写真は、さらに水分でネチョネチョになった部分をふき取りきれいにする必要があります。私が副会長をしている津市ボランティア協議会の役員に相談。賛同を得て、会員の他、広く津市民にも呼びかけての写真修復会の開催を決定しました。また、津市社会福祉協議会の後援も得られることになりましたが、高齢者の参加が予想され、十分なコロナ感染対策は必須となります。

幸い、津社協の管理する定員100人の広いホールを借りることができ、三密に配慮し定員15人とし、十分な間隔をあけて作業することが決定しました。

修復会は、9月25日、26日、30日の3日間開催。同時に、日本災害救援ボランティアネットワークが仲立ちし、大阪大学、西宮社協にも写真をお渡しし、それぞれで写真修復、その様子は9月30日にZOOM中継を通してシェアすることができました。

写真修復作業は、消毒用エタノールをしみ込ませたティッシュで、ネチョネチョになった部分をふき取ります。この方式は水を使わないので、床がカーペットの会場でも開催でき、高齢者にも無理のない



作業風景

姿勢で作業できます。会場の感染対策は、体温測定やマスク必携は当然として、机一つに一人の着席。机は50センチほど離して、各自2メートル以上の間隔を確保。また、スタッフと参加ボランティアの動線が交差しない、道具はすべて各自の机の上に用意し、道具の共用による感染を防止しました。

修復する写真は、はじめての作業でも数枚でコツがつかめ、参加された高齢の方も、自分の手で写真がみるみるきれいになり、大変やりがいを感じるとのことで、会場は和やかな雰囲気での作業が進み、延べ30人の方に参加頂きました。

### ●写真お届け

GOTOトラベルが開始され、これを活用し10月17日に人吉市を訪問。自宅の修復作業中の大柿長幸さんに直接写真をお渡ししました。多くのボランティアの手を経て修復された写真は「さらに大切な写真になった」と大変喜ばれました。また、大柿さんに写真をお渡ししたことから、球磨村で被災された方から「我が家の写真も修復してほしい」との連絡を受け、10月19日にその方の自宅を訪問し、写真約2,000枚をお預かりしました。現地では多くの写真修復のニーズがあり、さらに修復作業を継続しております。



～ココロープ～

運営スタッフ

戸口京子・朝井朋子・中村三佐子

今年7月にNVNAD女性スタッフによる支援活動チームとしてココロープが誕生してから、早4か月が経ちました。今回のニュースレターではドーンと1ページ頂戴して活動報告をさせていただきます。

◆令和2年7月豪雨災害支援活動・手作りマスクプロジェクト◆

懸念されていたコロナ禍における大規模な水害が発生し、県外ボランティアによる現地での支援活動が制限されました。現地に行かずに被災地の為に出来ることはないか、誰もが参加しやすい支援活動はどのようなものか・・・、そのようなことを模索する中で、手作りマスクを募集して被災地の子どもたちに送る案が浮上しプロジェクトを開始。早速、友人知人への声掛けやホームページでの呼びかけを始めたところ、続々と素敵なマスクが被災地への想いと共に



送られてきました。私たちの想いに賛同してくださる方がたくさんいらっしゃることにスタッフ一同感無量でした。そして、第一弾の送り先として、3年前の九州北部豪雨で被災された、大分県にある

夜明にこここ保育園の園長先生にご紹介いただき、日田市立光岡こども園へマスクをお送りしました。第二弾は熊本県八代市の八竜小学校へ、第三弾は渥美理事長の研究室を修了し、現在九州保健福祉大学に務めておられる加藤先生にご協力いただき、熊本県球磨村の一勝地小学校・渡小学校・球磨中学校へとそれぞれお届けさせていただきました。

また、NVNADが長年支援活動を続けている、東日本大震災の被災地である岩手県野田村からもたくさんの素敵なマスクが届きました。

過去の災害や支援活動を通してご縁のあった方々から、今回被災された学校園へと想いを繋いでくださったこと、まさに「ココロープ」の目指す心を繋ぐ活動が実現できたことに感謝の思いでいっぱいです。ご寄付・ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

※光岡こども園の子どもたちにはマスクの他、おもちゃ・手作りバッグ・Tシャツなどを送らせていただきました。園児からのお礼のお手紙がとても嬉しかったです。



◆支援のループを目指して・・・◆

阪神淡路大震災の被災地である西宮で誕生したNVNADには、被災したからこそ今度は支援する側にと、長年ボランティアとして活躍してくださってる方が大勢いらっしゃいます。そして、ボランティアの皆様の特技を生かして、新たな支援の場作りにご協力くださっております。支援のループ「ココロープ」とも呼べるような活動を目指して、これから更に「繋がり」を広げていきたいと思えます。皆さまからの「こんなこと出来ますよ!」というお声をお待ちしております。



ちぎり絵の得意なボランティアさんにレクチャーして頂きました。

～これからの活動予定～

●11月 ☆フェルトで作るクリスマスグッズ☆

※ボランティアさんを講師にお招きし、写真のようなサンタさんとツリーを作って被災地にお届けする予定です。



ココロープを応援して下さるサポーターを募集しております。

- 一緒に活動していただけるボランティアさんを募集しています。詳しくはNVNAD事務局0798-34-9011までお問い合わせください。
- ご寄付いただける方はこちらまでお願いいたします。

寄付口座 郵便振替 00950-5-334860  
加入者名 ココロープ

ホームページは  
こちらから⇒



<https://cocorope.wordpress.com/>

## 災害ボランティア講座

### 《丹波市男女共同参画センター》

9月27日(日)、丹波市男女共同参画センターにて、災害ボランティア講座が開催されました。コロナ禍の中での講座で少し心配もありましたが、主催の丹波市様の感染リスク対策が万全でした。受講者全員に対する非接触体温計での検温に始まり、部屋の換気が徹底されている中、アクリル板の設置により隣同士の感染を防止する体制も取られていて、受講者の皆さんも安心してプログラムに取り組めたのではないかと思います。

コロナの影響を受け、2月末以降初めての講演依頼でした。講演とクロスロードを実施させていただきましたが、感染リスク対策をきちんとすれば、講演や講座の開催も可能であることがわかり、我々にとっても学ぶことの多い講座となりました。主催者である丹波市男女共同参画センターの職員の皆さま、大変お世話になりました。



## KSN交流会

K S N  
(関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者が主催)



10月23日(金)、西宮市社会福祉協議会の『ふれぼの』にて今年度初めてのKSN交流会を開催しました。コロナ禍の中での開催でしたが、会場には4家族が集まり、オンラインでは2家族が参加しました。関西学院大学社会学部関ゼミ生4名の進行で、まず参加者全員の自己紹介からはじまり、昨年度1年間オーストラリアに留学されていた関西学院大学関先生の報告会や、学生さんによる企画としてクイズ問題などを行いました。

久しぶりに皆さんと再会することができ、終わってからのアンケートには「皆さんと再会出来てうれしかった」「次の活動もぜひ楽しみにしています」といった声がたくさんありました。コロナ禍の中での交流は制限もあると思いますが、今回の企画がとても好評だったので、オンラインの活用や飲食なしの交流会など、今後も活動の内容を考えて実施していければと思います。

## 「つなGirl」からの温かい支援 園田学園女子大学

10月23日(金)、園田学園女子大学の「学生地域連携推進委員会～つなGirl」の皆さんが募金箱を持って事務所にお越しくださいました。

昨年の台風19号豪雨災害に引き続き、今年の令和2年7月豪雨災害でも大学内に募金箱を設置して募金活動をされたそうで、今回もNVNADの支援活動に使ってくださいと、当団体の事務所まで持参してくださいました。熊本での支援活動に大切に活用させていただきたいと思います。「つなGirl」の関係者の皆様、本当にありがとうございました。



## 子ども防災クラブ



8月22日（土）高木公民館にて、今年度初の子ども防災クラブを行いました。コロナ対策をしながら楽しめるプログラムは何だろうということで、季節柄、ペットボトルを使った水てっぽう作りに挑戦しました。キャップの穴は学生リーダーさんに開けてもらい、それぞれが好きな色のビニールテープやマジックを使い、個性豊かな水てっぽうが仕上がりました。外遊びで試してみたかったのですが、残念ながらこの度はお預けです。家のお風呂で使ってもらうことにしました。

その後は糸電話による伝言ゲームをチーム対抗戦で行い、最後は学生リーダーさんの提案で、防災クイズにチャレンジしました。長い間家でおとなしくしていた子ども達、学校が始まって間もない頃で、久しぶりの集まりをととても喜んでくれたようでした。これからも楽しみながら防災や減災に興味を持ってもらえればと思います。

ご協力くださった学生リーダーの皆さん、どうもありがとうございました。

## 頑張っています!! ◇◇ 災害ボランティアラボ ◇◇

NVNADでは、2018年8月に大阪大学人間科学部とOOS協定を締結し、災害支援や防災・減災活動において、教職員や学生さんたちと一緒に、様々な活動を行っています。

昨年11月からは大学内の未来共創センターに「災害ボランティアラボ」が設置され、アドバイザーとしてNVNADのスタッフが関わらせていただいています。現在は、7月に発生した令和2年7月豪雨災害に関して、コロナ禍の中で現地に行かずともできる活動として現地の情報共有のためにオンライン会議を開催したり、写真洗浄作業などを行っています。また、大阪大学の学生グループ「すいすい吹田」が中心となって、吹田市社会福祉協議会や福祉委員さんと連携して実施している、吹田市内の高齢者とのお手紙プロジェクト「よりそい隊通信」の取り組みなどにも、定期的に関わらせていただいています。

コロナ感染の状況にもよりますが、今後の活動予定として「防災ピクニック」や「学生出前カフェ」など、大学とNPOが連携したことで実現していける活動を模索していければと考えています。随時、このニュース紙面やホームページでもご紹介させていただきます。ご期待ください。



## ●●●まちごと防災プログラム●●●

コロナ禍においても災害は待ってくれません。日々、コロナに気を付けながら生活をするだけでも大変なのに、更に災害の準備は難しいし、また講演やイベントに参加する時間もない。そんな時に「リモートまちごと防災」はいかがでしょうか？

リモートまちごと防災では、今まで講演やイベントなどで、会場に集まって進めてきた『災害への知識習得や防災活動』を、お手持ちのパソコンや携帯から参加できる取り組みを考えています。

講演やイベントをインターネット上で生放送し、参加者の方たちとリアルタイムで交流していきます。また過去の講演や災害に対する講座もインターネット上からご覧になれるよう企画しており、家にいながら気軽に防災活動に参加できる取り組みを考えております。



※只今、設備や講演、講座内容を鋭意制作中です。準備が整い次第、情報を発信してまいります。

●●詳しくはホームページ、または事務局へお問い合わせください●●

=== カレンダー市中止のお知らせ ===

1月の恒例行事となっておりますカレンダー市ですが、新型コロナウイルス感染予防のため、誠に残念ながら中止の決定をいたしました。  
 毎年ご協力くださっている皆さま、ご購入くださっている皆さま、楽しみにしてくださっている皆さま、どうかご了承ください。  
 お知り合いの方々にお伝えくださるとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

**Nうごき**

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

- |     |  |  |
|-----|--|--|
| 8月  | 17日<br>22日   | ニュースVol.123発行<br>第1回子ども防災クラブ（西宮市）  |
| 9月  | 19~21日<br>27日<br>30日                                   | 令和2年7月豪雨支援活動（熊本県人吉市、球磨郡球磨村）<br>男女共同参画基礎講座（兵庫県丹波市）<br>写真洗浄作業（西宮市）（三重県津市）オンラインにて同時進行   |
| 10月 | 7日<br>12日<br>15日<br>17~19日<br>19日<br>25日<br>30日<br>31日 | 近畿ろうきん講座（神戸市）<br>近畿ろうきん講座（兵庫県加古川市）<br>通常理事会（西宮市）<br>令和2年7月豪雨支援活動（熊本県人吉市、球磨郡球磨村）<br>近畿ろうきん講座（神戸市）<br>西宮市社協+コープこうべ+NVNAD 講座打合せ（西宮市）<br>甲子園短期大学特別演習（西宮市）<br>災害ボランティア養成講座（大阪府岬町） |



**Nごよみ**

11~1月の予定・講演などのスケジュール

- |     |  |   |
|-----|--|---|
| 11月 | 8日<br><br>10日<br>11日<br>14日<br>15日<br><br>17日<br>21日<br>24日<br>26日<br>28日<br>29日 | 防災ピクニック（大阪府吹田市）<br>ココロープ事業（西宮市）<br>近畿ろうきん講座（兵庫県宝塚市）<br>近畿ろうきん講座（大阪府吹田市）<br>第2回子ども防災クラブ（西宮市）<br>災害食紹介イベント（大阪市）<br>福祉の広場（大阪府吹田市五月が丘）<br>ニュースVol.124発行<br>写真洗浄作業（西宮市）<br>写真洗浄作業（西宮市）<br>近畿ろうきん講座（京都府城陽市）<br>防災訓練（大阪府吹田市五月が丘）<br>災害支援ボランティア養成講座①（大阪府泉南郡田尻町） |
| 12月 | 11日<br>12日   | 近畿ろうきん講座（大阪府豊能郡）<br>災害支援ボランティア養成講座②（大阪府泉南郡田尻町）  |
| 1月  | 12日<br>15日<br>16日<br>17日<br>21日<br>31日   | 近畿ろうきん講座（西宮市）<br>近畿ろうきん講座（神戸市）<br>コロナ禍での災害支援講座《CODE主催》オンライン開催<br>1.17行事…オンラインを含む交流会<br>近畿ろうきん講座（兵庫県明石市）<br>イザ！美かえる大キャラバン（神戸市）   |



# ～会員・寄付者・募金者のみなさま～

(2020年8月1日～10月31日)

## ■会員のみなさま

個人正会員：「新規」 太刀掛俊之

「継続」 片岡幸壺、松本清子、田中正秀、田中みどり、渥美直子、花岡豊  
ハツ塚としえ

個人賛助会員：「新規」 渡邊一正、渡邊朝子

：「継続」 渥美久栄、中井亜沙美、渥美杏奈、渥美樹里、ハツ塚一郎、泰井妙子  
掛水須美枝、大槻安樹子、松崎武生、武智美和

法人賛助会員：「継続」 社会福祉法人光朔会オリンピック

## ■寄付者のみなさま

※ココロブ宛のご寄付も含みます。

渥美久栄、渡邊一正、渡邊朝子、青木博子、木下和寛、池田秀樹、掛水須美枝  
ハツ塚としえ、平山隆史、田中稔昭、山本佳世子、比嘉真由子、近畿ろうきん  
ヤフー株式会社、ソフトバンクかざして募金の皆様、戸口京子、朝井朋子

## ■募金者のみなさま

「東日本大震災」 グッドスナカヤマヨシ

「令和2年豪雨災害」 古塚純枝、園田学園女子大学、一般社団法人ジョブステーション西宮

## ■ご協力いただいたみなさま

竹内三豊喜、山添艶子、蟻田典恵、栢岡美代子、濱田由香、内井佳奈

飯干初子、安田章乃、清水聡子、かわべ、株式会社高山堂、株式会社フェリシモ

(順不同、敬称略)

## ご支援、ご協力ありがとうございました。

なお、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

### 「お詫び」

前号(123号)の「会員・寄付者・募金者のみなさま」で、事務局のミスによりお名前が漏れがありましたことを深くお詫び申し上げます。この度掲載させていただきましたので、ご確認くださいませ。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



この度、当団体の常務理事、寺本弘伸が

『兵庫県震災復興功労賞』を受賞しました。

詳細につきましては、次号でご報告させていただきます。

### 編集後記

今のところ今年も台風の日本上陸が1つもない状況が続いていますが、地球温暖化による台風の巨大化が年々危惧されています。政府は2050年までにカーボンニュートラルの目標を初めて掲げ、脱炭素社会を目指す方針が示されました。市民一人ひとり身近なところで環境に配慮した生活様式を身につけていく必要があるように思います。我々も出来るところからはじめていきましょう!! H.T

(カーボンニュートラル(気候中立)とは、ライフサイクル全体で見たときに、二酸化炭素(CO2)の排出量と吸収量とがプラスマイナスゼロの状態になることを指す。)

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク [NVNAD]

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀